

**主題：「神の宮である召会（神の永遠のエコノミーの目標）」
の内在的な意義**

メッセージ 5

神の宮を建造する者であるソロモン——ソロモンの起原、ソロモンの知恵、ソロモンの心、
ソロモンの洞察力、ソロモンの歌

聖書：マタイ 1:6 後半、列王上 3:12、4:29-30、伝 1:2 後半、3:11、雅 6:4 前半、13 前半

I. 「ダビデはウリヤの妻であった者からソロモンを生み」——マタイ 1:6 後半：

- A. ダビデは罪を悔い改め、神によって赦された後、ソロモンを生みました——サムエル下 12:1-13, 24。
- B. ソロモンは、人の違犯と悔い改めプラス神の赦しです——詩 51:1-4, 7, 9, 17-18：
 - 1. ソロモンの起原とは霊的な結婚、すなわち、ダビデの違犯と神の赦しを伴う悔い改めです。この結婚はソロモンを生み出しました。ソロモンは神の宮を建造しました。
 - 2. 召会は常にこのソロモンのような人によって建造されます。ソロモンは、わたしたちの違犯と悔い改めプラス神の赦しです。また彼はわたしたちにとって平和であり、主の愛する者です。そのような人が神の宮としての召会を建造します——サムエル下 12:24-25, I コリント 3:9, 16。
- C. ダビデは神の赦しを受け、彼の救いの喜びが回復した後に祈りました、「あなたの大きい喜びの中でシオンに善を行ない、エルサレムの城壁を築いてください」（詩 51:18）。ここの「善」は、神が神の宮としての召会を建造することと、彼が召会をご自身の栄光で満たすことを含んでいます。

II. 「わたしはあなたに知恵の心と理解力を与える。あなたの先にあなたのような者はなく、あなたの後にもあなたのような者は起こることはない」——列王上 3:12：

- A. 「ソロモンの知恵は、東のすべての子供たちの知恵と、エジプトのすべての知恵にまさっていた」——4:30。
- B. 「人々はあらゆる民のうちから、またソロモンの知恵のことを聞いていた地のすべての王のもとからもやって来て、彼の知恵を聞いた」——34 節。
- C. ソロモンの知恵は来たるべき実際の知恵の影です。すなわち、実際の知恵は神であり、神はキリストの中で具体化されています。キリストはわたしたちの知恵となり、わたしたちの中におられ、わたしたちを神と一にし、わたしたちを神格においてではなく、命において、また性質において神と同じにします——コロサイ 2:9、I コリント 1:24, 30。

III. 「ユダとイスラエルの人々は海辺の砂のように多くなり……神はソロモンに知恵と非常に多くの理解力と、海辺の砂のような広い心を与えられた」——列王上 4:20, 29：

- A. 知恵と広い心は、一つのもの二つの面です。知恵の秘訣とは広い心を持つことです——3:12、5:12 前半：
 - 1. 広い心を持っている人たちには知恵がありますが、狭い心を持っている人たちは愚かです。

2. ある人が狭く、彼の心も狭いとき、彼は容易に高ぶります。高ぶりは人の狭さの表現です。
- B. わたしたちは神の宮の建造のために心において広くされようとするなら、完全に神に和解させられる必要があります——Ⅱコリント 5:20. 6:11-13：
1. どれほどわたしたちの心が広いかは、わたしたちが神に和解されている程度によります。
 2. 心の狭さは、わたしたちが部分的にのみ神に和解させられていること、またわたしたちの救い割合がとても低いことを強く示すものです。——2節。ローマ 5:10。
 3. わたしたちが違犯を赦し、それからそれを忘れるなら、それはわたしたちが広い心を持つ人になったというしるしです——マタイ 18:21-35. エペソ 4:32。
- IV. 「空の空、すべては空である」——伝 1:2 後半：
- A. 日の下での人生のすべての経験を通して、ソロモンは、人生が空であることに深く印象づけられ、占有されました——12-14, 17節。
- B. 神は、人の心の中に永遠と永遠のものに対する切望を置かれました。それは、人が、永遠の方である神、永遠に生きており、隠れた、奥義的な方、すなわち、永遠の命を求めることができるためです——3:11. 8:17. 創 21:33：
1. わたしたちの心の中にあるこの切望のゆえに、一時的な事柄はわたしたちを満足させることはできません。永遠の神、すなわち、キリストだけが、人の心の中にある目的についての深い感覚を満足させることができます——エペソ 1:9, 11。
 2. 神の永遠の目標とは、神の宮である新エルサレムを通して、ご自身の団体の表現を持つことです。わたしたちは、神ご自身の目的のために救われました。彼の目的がわたしたちの目的となるときにのみ、わたしたちは完全で、深い満足を持つことができます——2:21-22. 啓 21:22. Ⅱテモテ 1:9. 3:10。
- V. 「歌の中の歌、これはソロモンの歌である」——雅歌 1:1：
- A. 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう」——6:4 前半：
1. テルザは、神の聖なる所、すなわち、王なる神の住まいを表徴しており、エルサレムは神の住まいの保護でした。
 2. キリストを愛する者は、神の建造となりました——Ⅰコリント 3:9-12：
 - a. 旧約聖書で、神の建造はテルザとエルサレムによって予表されています。新約聖書で、この建造は、キリストの有機的なからだです——エペソ 4:16。
 - b. 究極的に、キリストの有機的なからだの建造は、至聖所の完成である新エルサレムを完成します——啓 21:2-3, 16, 22。
- B. ソロモンの複製、また配偶者であるシュラムの女が表徴するのは、キリストの命の成就において、キリストを愛する者がキリストの複製、すなわち、命、性質、表現、機能（神格においてではなく）において、彼と同じであるということです——雅歌 6:13 前半. 啓 21:9-10。